

令和4年度 後期学校評価アンケートのまとめ（生徒・保護者）

回答 a そう思う b だいたいそう思う c あまりそう思わない d そう思わない () 内は前期の結果

学校生活は楽しい

(生徒) a 58% (61%)
b 32% (32%)
c 8% (5%) d 2% (2%)



子どもは安心して楽しく登校している

(保護者) a 45% (53%)
b 44% (41%)
c 7% (5%) d 4% (1%)

9割の生徒が「学校生活は楽しい」と回答しており、概ねいきいきと学校生活を送っているようです。否定的な回答の生徒・保護者がいることを受けとめ、一人一人を大切にできる学校をめざします。

学校での学習はよくわかる

(生徒) a 26% (27%)
b 56% (60%)
c 16% (10%) d 2% (2%)



子どもは学習内容がよくわかっている

(保護者) a 17% (19%)
b 52% (57%)
c 25% (20%) d 6% (2%)

学習面における肯定的な回答は8割を超えていますが、「そう思う」と答えた生徒は3割未満でした。また、3割の保護者が、お子さまの学習に不安を持っておられること等、前期と同様、厳しい結果となりました。「夢や目標をもって学習している」に、否定的な回答をしている生徒が、未だ3割を超えている現状を含め、学習内容の定着とキャリア教育の充実を、教育活動の最重要課題として取り上げ、具体的な方策を、学校全体で検討していきます。

将来の夢や目標をもって学習している

(生徒) a 23% (26%)
b 42% (38%)
c 27% (25%) d 8% (11%)



子どもは将来の夢や目標をもって学習している

(保護者) a 19% (20%)
b 46% (48%)
c 31% (29%) d 4% (3%)

GIGA 端末等の ICT 機器を学習等に活用している

(生徒) a 45% (45%)
b 45% (46%)
c 8% (7%) d 2% (2%)



子どもは ICT 機器を学習や活動に活用している

(保護者) a 15% (21%)
b 55% (49%)
c 23% (25%) d 7% (4%)

「授業における ICT 活用」を、教科や道徳、総合等で進めていますが、3割の保護者が否定的な回答をしておられます。教室と家庭を結びリモート学習の課題を反映していると思われます。

家庭で自主的に学習している

(生徒) a 20% (19%)
b 39% (43%)
c 32% (31%) d 8% (8%)



子どもは家庭で自主的に学習している

(保護者) a 20% (17%)
b 37% (40%)
c 28% (33%) d 15% (10%)

家庭での自主的な学習について、生徒・保護者ともに、否定的な回答が4割ほどあり、家庭学習習慣に課題のあることが伺えます。自ら学習する力は、中学生時だけでなく、状況に応じて自らをアップデートして生きていく力として、将来にわたって必要になる力です。学習面での自立を図っていきます。

学校のきまりやルールを守って生活している

(生徒) a 59% (56%)
b 38% (40%)
c 2% (3%) d 1% (1%)



子どもは学校のきまりやルールを守って生活している

(保護者) a 45% (50%)
b 49% (42%)
c 3% (6%) d 4% (2%)

大半の生徒が「決まりやマナーを守っている」と回答しています。学校全体が学習やその他の活動に、落ち着いて取り組める環境が整いつつあります。

進んで挨拶をしている

(生徒) a 43%(46%)
b 45%(42%)
c 10%(10%) d 1%(2%)



子どもは進んで挨拶をしている

(保護者) a 30%(26%)
b 47%(54%)
c 20%(18%) d 2%(1%)

挨拶に関する回答は、概ね良好な結果ですが、保護者の否定的な回答が、前期より少し増えました。「挨拶」は社会の潤滑油と言われます。挨拶の効用を共に考え、行動に繋げたいと思います。

他の人を思いやった言動ができています

(生徒) a 38%(33%)
b 55%(59%)
c 6%(8%) d 1%(1%)



子どもは他の人を思いやった言動ができています

(保護者) a 45%(47%)
b 49%(48%)
c 4%(4%) d 2%(1%)

他者に思いやりのある言動ができていますについて、肯定的回答が多いものの、否定的回答があることを踏まえ、日々の学校生活を通して、人権を大切にすることを育てていきたいと思っています。

悩みや困りごとを相談できる

(生徒) a 30%(36%)
b 45%(40%)
c 18%(17%) d 6%(7%)



子どもは悩みや困りごとを相談できる

(保護者) a 8%(9%)
b 49%(52%)
c 33%(32%) d 10%(7%)

「悩みや困りごとを相談できるか」について「そう思う」と回答した生徒の割合が、前期よりやや低いです。出来るだけ多くの目で子どもを見守り、悩みを気軽に相談できる体制を整えていきます。

授業中に自分の考えを広げたり深めたりできる

(生徒) a 23%(24%)
b 48%(48%)
c 25%(23%) d 4%(5%)



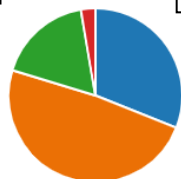
子どもは授業中に自分の考えを広げたり深めたりできる

(保護者) a 16%(15%)
b 50%(57%)
c 28%(24%) d 6%(4%)

コロナ禍における学習形態の制限が、少しずつ緩和され、協働学習を取り入れる機会が増えています。他者の考えを知り、新たな見方・考え方に触れることで、自らの学びを深めていけるよう、引き続き工夫していきます。

自分の考えを持ち、話したり書いたりしている

(生徒) a 31%(33%)
b 49%(49%)
c 18%(15%) d 3%



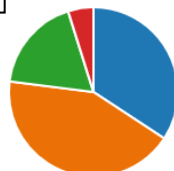
子どもは自分の考えを持ち、話したり書いたりしている

(保護者) a 12%(11%)
b 57%(55%)
c 27%(29%) d 4%(5%)

教科・道徳・総合的な学習等、さまざまな場面で、考えを書いたり、話したりする活動を取り入れています。成果物を交流する、保護者の方に見ていただく等、表現の喜びを体験できるよう工夫したいと思います。

食事や休養に気をつけて生活している

(生徒) a 34%(36%)
b 43%(45%)
c 18%(15%) d 5%(3%)



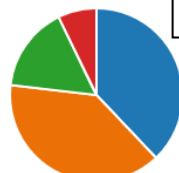
子どもは食事や休養に気をつけて生活している

(保護者) a 13%(16%)
b 51%(52%)
c 32%(27%) d 4%(5%)

食育掲示板・食育だよりを中心に、食事や休養に関する情報を届け、必要に応じて話をしています。いざという時、力を発揮できる心身の健康を作るために、今後も食育を継続していきます。

配布プリントをしっかりと渡し、学校のことを家で話している

(生徒) a 38%(40%)
b 39%(37%)
c 16%(17%) d 7%(5%)



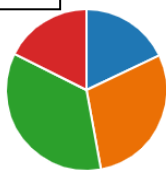
学校からの情報提供は、よく行われている

(保護者) a 23%(21%)
b 61%(60%)
c 13%(16%) d 4%(3%)

情報提供について、概ね肯定的な回答であるものの、十分とは言えません。保護者の方々が求める情報を察知し、配布プリント・配信メール・学校ホームページ等を活用し、発信できるようにしていきます。

小学校と中学校で一緒にいろいろな
取組を進めているのを知っている

(生徒) a 18% b 29%
c 35% d 18%



小中が連携して教育活動に取
り組めている

(保護者) a 7%(9%)
b 58%(54%)
c 26%(29%) d 8%(8%)

小中連携について、生徒の認知度は 5 割未満、保護者の肯定的回答は 6 割 5 分という結果でした。小学校と中学校間の協力は必要不可欠であり、さまざまな企画・取組を実践していく方針です。その実践を、保護者や地域に向けて伝えていきたいと思います。

保護者の皆様へ

令和4年度後期学校評価保護者アンケートについて、多くの回答をいただき、ありがとうございました。

2学期以降、全校実施の学校行事、校外学習等の学年行事が実現し、3年ぶりに本番を迎えた「合唱コンクール」では、互いの合唱を鑑賞し、「3年生の合唱は迫力があり素晴らしかった」等、生徒が互いに認め合い、学ぼうとする姿を目の当たりにする取組となりました。教科学習においては、新たに生徒一枚のホワイトボードの活用をスタートし、現在、さまざまな場面で、GIGA 端末とホワイトボードの活用を進めています。調べ学習や発表等においても使うことによって、基礎・基本の学力と応用力を身につけることを目標に取り組んでいます。このような中、実施した後期アンケート結果のうち、

○学習が将来の夢や目標へとつながっている

○家庭学習習慣が定着している

の項目について、否定的な回答の生徒及び保護者の割合が、依然、高い結果でした。中学卒業後の進路決定だけでなく、将来社会人として生きる上で必要な力として、「自ら学ぶ力」の大切さに気付かせる授業、サポート学習、キャリア教育の充実に、取り組んでいます。また、

○他の人を思いやった行動ができている

という項目に、肯定的回答をしている生徒と保護者の割合は高いものの、「そうである」の割合は、生徒 38%、保護者 45%でした。他者を思いやった行動は、日常生活において自然と培われていく部分と、人権学習等において、正しく「知る」ことから行動につながる部分があると思います。今年度の人権学習は、「障がいのある人と共に生きる」「外国人と共に生きる」「部落差別と人権」「ユニバーサルデザイン」の各テーマの下、「正しく知る」を目標の一つとして、学習しました。3年目を迎える「人権の木」制作においては、保護者の方々にも有志で参加をいただく等、取組の輪を広げました。このように、互いを思いやった行動について、常に問いかけながら、学びを進めていきたいと思っています。

コロナ禍の中、今年度も、保護者の来校の機会は十分と言えない状況でしたが、出来る形で情報を発信し、気軽に相談していただける「開かれた学校」を目指し、取り組んできました。どんな状況下に置かれようと、お子さまの様子、変化を共有し、共に歩む姿勢を、大切にしていきたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。